

クイズで知ろう（いいな）近江八幡

岡山文化祭協賛「近江八幡歴史検定問題」です。「初級編」の一部です。腕試しにやってみましょう！

* 解答欄は ~ の5問から1個だけ解答番号を解答欄□に書く。原則5択方式です。

* 解答は別紙をお願いします。出題はアトランダムです。（整理していません。とにかく作っただけです。）

- 1、鬼退治の源流とされる「今昔物語巻第二十七」 本朝付霊鬼「近江國・橋鬼喰人語第十三」に出てくる鬼が出る橋はどこに架かっている橋ですか。市内にあります。1984年にはその橋に出没するという鬼を退治に出かけた侍たちを描いたもので「今昔物語」の「○橋の鬼女」を映画化した「○○・鬼神の怒り」という中村久美、伊武雅刀などが出演している映画が造られています。若干ストーリーは羅城門の鬼に似ているが、こちらが源流です。ご存知でしたか。

竜王橋 岩倉橋 安吉橋 日野川橋 弓削橋 ☐

- 2、江戸時代、上田秋成によって執筆された「雨月物語」の中には、高野山を舞台にした「仏法僧」という物語がありますが、登場する亡霊は誰れでしょうか。豊禅閣ともいわれ出家させられたうへの無念の切腹であったと聞いています。7月15日が命日です。

木村重成 羽柴秀勝 木下秀俊 豊臣秀次 千利休 ☐

- 3、江戸中・後期 の国学者・歌人で、本名、資芳。別号、閑田子(かんでんし)と称した近江八幡の商家出身の人は誰でしょうか。今に残る彼の旧商家住宅は、50年前は近江兄弟社図書館として親しまれました。今は（財）教育会館の管轄で資料館となっています。

蝉丸 松尾芭蕉 伴蒿蹊 西川吉輔 北村季吟 ☐

- 4、「住友」中興の人と言われた叔父広瀬幸平の後を継いで第2代住友総領事となり明治時代に東の足尾、西の別子といわれた当時「別子銅山の中興の祖」と云われました。環境問題にも心血を注ぎ別子銅山に植林した結果が今の「住友林業」に繋がっている。田中正造も称賛した近江八幡の西宿出身の事業家は誰か。

塚本幸一 山岡孫吉 伊藤忠兵衛 堤 康次郎 伊庭貞剛 ☐

- 5、近江八幡市名誉市民第1号「ウィリアム・メレル・ヴォーリズ」氏は英語教師

として来日後、建築設計、医薬品製造販売（メンソレータム）学校、病院経営などを手掛け「青い目の近江商人」と云われたが、占領軍ダグラス・マッカーサーとも親交があり「天皇を守ったアメリカ人」とも称されている。彼の出身地はアメリカ合衆国の何州の何という都市か。

ミシガン州グランドラピッツ コロラド州デンバー アリゾナ州セドナ
カンザス州レブンワース カリフォルニア州サンフランシスコ

☐

- 6、初代八幡城主の豊臣秀次はよく知られているところだが、小田原征伐の功により尾張・伊勢 100 万石に移封された後、第二代八幡城主で最後の城主となった人物の名は誰か。（彼が大津城へ移転の後八幡城は廃城となる）大河ドラマの「お江」の姉「お初」の夫と云えば分かるかな。関ヶ原後は大津城での戦功が認められて小浜城主となる人物の名前は。

田中吉政 山内一豊 京極高次 藤堂高虎 細川忠興 ☐

- 7、金田村西庄出身の商人「西村松兵衛」が横浜で再婚した「西村ツル」は前の名は「榑崎竜」といい、寺田屋のお登勢女将（大津出身）や勝海舟や西郷隆盛とも顔なじみだったと云われる。この「竜」は前の夫とは九州に日本最初の新婚旅行に行ったといわれる。維新を目前に暗殺された彼女の前夫の名前は誰か。彼は明智光秀の子孫ともいわれている。その証拠に彼の家の紋は「桔梗」であり「才谷屋」ともいった。ちなみに彼女の墓は横浜にあり西村松兵衛が建立したと伝わる。

中岡慎太郎 大久保利通 西郷小吉 福沢諭吉 坂本竜馬 ☐

- 8、豊臣秀吉とは墨俣一夜城建設時のころからの知り合いで、蜂須賀小六とは兄弟分であり一般に将右衛門と呼び、関ヶ原合戦で石田方で活躍した舞兵庫は甥になるという。豊臣秀次の家老となって小牧・長久手や小田原戦線で戦ったが豊臣秀次事件に連座して賜死（切腹）した人物の名前は誰か。

黒田長政 真田昌幸 菊亭晴季 前野長泰 石見重太郎

☐

- 9、本格的に島に人が住むようになったのは、保元・平治の乱（1156～1159）による源氏の落武者 7 人が山裾を切り開き漁業を生業とし居住したことに始まると言われ、彼ら七家（南、小川、西居、北、久田、中村、茶谷）が現在の島民の祖先とされています。現在までの沖島の歴史のなかで、島に上陸していまに西福寺に残る「虎斑の名号」を書いた有名なお坊さんは誰か。このお坊さんの影響で、沖島は以後六角氏から変わり本願寺系自治都市の堅田の保護を受けるようになった。

法然 親鸞 蓮如 道元 教如

☐

- 10、市内の被差別部落に生まれ、若い時から部落改善運動に取り組み、大正11年、西光万吉ら奈良の燕会青年と共に全国水平社を立ち上げ、創立大会で初代委員長となった近江八幡出身の人物の名は。

南梅吉 松本治一郎 駒井喜作 坂本清一郎 朝田善之助

☐

- 11、江戸時代初期の有名な陽明学者で、元岡山藩池田家の家老まで務めた。若い時、中江藤樹の門下になるため、祖父の実家があった桐原村（中小森）で一時期を過ごした人物の名は誰ですか。幕府の官学朱子学と対立し、晩年は隠遁した。死後、彼の思想が再び脚光を浴び幕末には藤田東湖や吉田松陰が傾倒し討幕の原動力となったといわれる。

大塩平八郎 新井白石 林羅山 頼山陽 熊沢蕃山

☐

- 12、江戸時代、隣国朝鮮からの使節団が通った道を「朝鮮人街道」といい、現在では野洲の広畑から彦根の鳥居元までが、その地名を残している。通算12回の李氏朝鮮からの使節団を何というか。

天正節度使 遣新羅使 朝鮮通信使 百濟使節団 琉球使節団

☐

- 13、第六天魔王といわれた、その人は戦国時代の英雄とされ、その人の先祖は、平（津田）親実（ちかざね）といい近江八幡の津田郷から出て福井の織田剣神社の神主となり、その子孫が、守護大名斯波氏の被官となり尾張に来ていと子の織田有楽斎（江戸時代には有楽町に屋敷があった）の家系図にある。その人の母は「土田御前」というが市内の土田町とも関係があるらしい。天下布武を提唱したが本能寺の変が命日1582年六月二日となったその人物の名前は誰か。

織田信行 織田信秀 津田信広 織田信雄 織田信長

☐

- 14、本能寺で討たれた織田信長の「首塚」が西山本門寺の境内にある。本能寺の変のとき本因坊日海の手紙により信長の首を埋めたとされるお寺である、そのお寺（西山本門寺）がある都市の名前はどこか。近江八幡市とはある都市提携をしています、妙な因縁を感じます。

松前町 南相馬市 羽曳野市 富士宮市 岐阜市

☐

- 15、法然の念仏集団を弾圧した後鳥羽上皇は、法然上人を土佐に、親鸞聖人を越後

に流罪にだけでなく、死罪になった法然門下の弟子もありました。それを「承元の法難」といいます。市内の千僧供町にはここで捕縛されそこで断首された法然上人の弟子の墓（首塚・遺跡）がありますが、その弟子の名前を教えてください。

一向 住蓮 善鸞 弁長 真仏 ☐

- 16、信長亡き後、勝家と秀吉が戦った賤ヶ岳合戦で、敗れた柴田勝家は北の庄城（福井市）で滅亡しますが、柴田勝家が北の庄城に移る前は（天正5年北陸の上杉氏に対抗するため転封）近江八幡市内の城を居城（元亀元年1570～天正4年1576）としていました。永禄11年に足利義昭を擁した信長が入京のため近江に侵入以降、近江平定に、秀吉が長浜城、明智光秀が坂本城、佐和山に丹羽長秀を配して分封支配した頃です。そして勝家の居城のあった地を現在でも『瓶割山』と呼ぶ。彼の異名ともなった「瓶割り柴田」が居城とした市内にあった城の名前はなんですか。近年、南隣の東近江市羽田地区においては、この時の柴田の異名の元となった「柴田勝家」と「六角義治」の戦いをモチーフにした「雪野山歴史まつり」を開催し「水鉄砲」合戦が行なわれているそうです。

永原城 安土城 宇佐山城 観音寺城 長光寺城 ☐

- 17、近江八幡商人には「ふとんの西川」（西川産業）の西川甚五郎氏や、北海道の場所請負で蝦夷開発に貢献した恵比寿屋岡田弥三右門氏などが有名ですが、遠く海外ベトナムまで商売に行き、結果、徳川幕府の鎖国により、ついに日本に帰れなかった近江八幡商人の名前は誰でしょうか。日牟礼八幡宮には彼の船の絵馬が奉納されています。

角倉了以 茶屋四朗次郎 岡田八十次 西村太郎衛門 伊藤忠兵衛

☐

- 18、朝鮮通信使の休憩場所となり、書院には通信使の書が残っている「湖国法城」の額があるお寺で浄土真宗本願寺派の滋賀教区の教務所があるお寺の正式な名前はなんですか。別名では八幡別院と云われています。門をくぐると親鸞聖人と蓮如上人の石像が出迎えてくれます。

西明寺 西光寺 金照寺 金台寺 洞覚院 ☐

- 19、「太閤素生記」に伝わる秀吉が最初に仕えた今川家の家臣の名前は誰か。彼の先祖は、もともと近江佐々木六角の一族で、市内の円山城の城主であったが、その子孫が三河国松下郷頭陀寺に住み着いたという。家紋は佐々木氏と同じ四つ目結である。秀吉との出会いにより、今川家没落後は、家康に仕えていたが、秀吉が

貰い受けて大名とした人物の名です。関ヶ原以後、徳川幕府の時にも生き残り、領地であった茨城県伊那町には国の重要指定無形文化財で『小張○○流綱火』というロケット弾のような花火が伝承されている。2006年の年末ドラマ『ザ・サルのと呼ばれた男』で俳優中井貴一が、その人物を演じていたが、記憶されているだろうか。

太原雪斎 大久保忠教 松下嘉兵衛 松平元康 岡部元信 ☐

- 20、近江八幡市安土町には有名な神社が2つある。1つは全国の近江源氏佐々木一族の氏神（佐々木大明神）が祭られている沙沙貴神社（ささきじんじゃ）であり、もう1つは日本武尊の妃の弟橘姫命が、「我胎内に子在すも尊に代わりてその難を救い奉らん。靈魂は飛去りて江州・老蘇の森に留まり、永く女人平産を守るべし」としたことから、☐の神社である。滋賀のパワースポットとしても有名なその神社はどこか。太田道灌も立寄って歌を詠んでいます。

新宮神社 熊野神社 奥石神社 活津彦根神社 鎌若宮神社 ☐

- 21、古事記や日本書紀にも載っている「天御中主命：アメノミナカノヌシノミコト」は、多賀大社に存するイザナミ・イザナギの大親神となっています。一説ではイザナギは「白王」とも呼ばれ宮内町に一時住まいしたともいわれている。神話では高天原に最初に現れた神は国常立命といい、次の神が「天御中主命」となっていることから天孫族のNo2と理解されます。近江に高天原があったという説もあることから、（津田）中ノ庄町にある、この神社には東郷平八郎元帥の扁額が掲げられています。この神社はなに神社と呼ばれているか。

高皇産神社 天照国照神社 倭姫神社 大国神社 天御中主神社 ☐

- 22、「小田は良いとこ お鍋の方が 殿をまねいたこともある」今も子守唄に唄われるお鍋の方は興雲院（きょううんいん）と云われ、近江の豪族高畑源十郎の娘で一代の英傑「織田信長」の愛妾であった。小田神社のある小田町にはお鍋の方の実家がありそこに住んだといわれる屋敷跡もある。お鍋の方は数多い信長の妻妾のなかで、唯一実名の判明している女性である。天正十年（1582年）六月二日 信長が本能寺で自刃、同十五日 安土城炎上するとき、側室お鍋の方を、敵方に囚われぬよう自分の城へ迎え入れた人物は誰か。六角家に仕えていたが後に織田家に仕え安土城の城代（留守居役）になった人物である。余談だがお鍋の方は信長が死去した後は、信長の側室の代表的存在として行動し、織田家の位牌所を守ったとされている。子には織田信高（七男） 織田信吉（八男）がいる。兄弟は関ヶ原では西軍に付いたが、のち信高の子孫は徳川の旗本として仕えたとある。彼の子孫にフィギアスケート選手の織

田信成がいる。信吉の子孫は関ヶ原の後、水戸に移住し津田姓を名乗ったとされる。

丹羽長秀 滝川一益 滝川益氏 蒲生賢秀 前田慶次郎 ☐

- 2 3、隣家との間についた小さい防火壁で1階屋根と2階屋根の間に張り出すように設けられているものを呼ぶ。本来、町屋が隣り合い連続して建てられている場合に隣家からの火事が燃え移るのを防ぐための防火壁として造られたものだが江戸時代中期頃になると装飾的な意味に重きが置かれるようになる。自己の財力を誇示するための手段として、商家の屋根上には競って立派な物が上げられた。市内では新町通りの商家町並みに見られる。それを上げるためにはそれなりの出費が必要だったことから、これが上がっている家は比較的裕福な家に限られていた。これが「生活や地位が向上しない」「状態が今ひとつ良くない」「見栄えがしない」という意味の語源のひとつともなっている。それを何というか。

首 腕 うだつ 頭 梁 ☐

- 2 4、六枚橋交差点を南に入るところに住蓮坊首洗池がある。住蓮坊首洗池は、後鳥羽上皇が法然上人の弟子・住蓮坊等の二人の僧の首を刎ね、住蓮坊の首を洗った池とされる。ところだが、その隣地に古墳らしき丘（千僧供古墳群供養塚；古墳出土の短甲・刀剣も千僧供町で保管されている。）がある。その古墳は「壬申の乱で戦死した額田王、鏡女王姉妹の父（鏡大王）の墳墓である」とされている。鏡氏は新羅の王子、天日槍の従者の末裔である。鏡の里の真照寺には額田王の父の墓が残されている。額田王は「あかねさす・・・」の蒲生野の相聞歌で有名だが、その額田王の姉であった鏡王女のことはご存じであろうか。中臣の鎌足の妻となり藤原不比夫の母となった人物である。では645年乙巳（いつし）の変（大化改新のこと）で政権を蘇我氏より奪還し、百済を支援して白村江の戦いで唐・新羅連合軍に負けた天皇とは誰か。近江と深い関係のある人物で額田王の夫です。

天武天皇 皇極天皇 聖武天皇 天智天皇 景行天皇 ☐

- 2 5、近年発見された「前野家文書」には、秀次の家臣で秀次事件に連座して賜死した蜂須賀小六正勝の盟友であった前野将右衛門長泰のことや、秀次事件後石田三成の家臣となり関ヶ原で戦死した舞（＝前野）兵庫など戦国期から安土桃山時代にかけての前野家の動向のことが記されている。俗にその本＝「前野家文書」のことを世間的には何と呼ぶか。

慶次郎縁側日記 武功夜話 覇信長記 三河物語 異天正記 ☐

- 2 6、サントリー美術館に所蔵されている「豊臣秀次公が着用したとされる甲冑」（朱

塗黒糸素懸威二枚胴具足)は次のうちどれか。全体的に大振りに作られた具足で、烏帽子形兜(写真ではわかりづらいが、横から見ると烏帽子形兜だとわかる)に獅噛の前立と焰(ほむら)の脇立が付属する。伸縮性のない二枚胴である。桃山時代を代表する華やかな具足である。



27、澤田ふじ子の小説「惜別の海」には武佐の石工集団が描かれている。また少年画報社から出版された「ひらまつつとむ著」のコミック雑誌「まぶちの右近」は、信長の安土城築城を巡って、石工集団の馬淵(まぶち)衆ともう一つの石工集団の対立を描いたマンガである。馬淵一族は岩倉に住んでいたという物語(ストーリー)である。まぶちの右近と対立したもう一つの石工集団の名前は次のうちどれですか。岩倉山からは近世初め、御影石が砕石されたという。馬淵の石工たちは、大阪城築城の際にも活躍し、それを示す桃山から江戸時代にかけての「石工文書」が地元で保存されている。しかし全国的に安土城や彦根城などの石垣を作った有名な石工衆(集団)は次のうちどれか。大津市にその地名が残っている。

百足衆 金山衆 穴太衆 坂本衆 穴栗衆



28、市内の大島・奥津島地域に自生する果実で、「伝説の霊果」と言われている。天智天皇が蒲生野に狩りに出かけた折、この地で、老夫婦が差し出した果実を食して以来、今日まで毎年、皇室と近江神宮に献上している果実のことを何と言うか。この時、天皇の発した「○○なるかな」という言葉が、そのまま果実の名前の由来となっています。

アケビ むべ 山うり まくわうり 山ぶどう



29、昔々お世話になった 勸修寺(かじゅうじ)ユースホテル。今では名前も変わっ

て近江八幡ユースホテルで登録有形文化財『明治の館』として活用されながら保存されています。別名「狸御殿」ともいわれています。もっと昔は蒲生郡「勸業館」だった建物を移築したものです。金田コミセンにその時の勸業館に寄付した記録が残っていました。ところで勸修寺（かじゅうじ）といえば京都山科にある真言宗の門跡寺院が有名ですが、室町～戦国時代に活躍した公家の武家伝奏役の「勸修寺晴豊」も有名です。さて、この人物の彼（晴豊）は何をしたことで有名なのでしょうか。

齊藤道三に土岐の謀反を奨めた 木下秀吉に羽柴姓を奨めた 家康に今川家からの独立を奨めた 信長に將軍職を奨めた 小早川秀秋に関ヶ原で西軍を裏切ることを奨めた



30、富山県、石川県、福井県が主な生息地であるが、滋賀県では近江八幡市だけに生息している珍しい生物がいる。昔、北陸からの産物が八幡堀を通過するときに、ここで下車した荷物・材木等に付いていたとされている。その生物の名前は。

北陸クモ イシカワムカデ ツルガマイマイ フクイガエル エチゼンカミ

キリムシ ☐

31、近江八幡市は韓国慶尚南道の密陽（ミリャン）市と姉妹提携を結んでいます。さて韓国では韓民族の歌としての「アリラン」があります。そのアリラン発祥とされる場所がいくつかあり、韓国三大アリランといわれているのが「珍島アリラン」（全羅南道珍島郡）と江原道地方の「旌善(チョンソン)アリラン。そして、もう一つは、どこでしょう。嶺南楼（れいなんろう）横に碑があります。

密陽アリラン 安東アリラン 慶州アリラン 晋州アリラン 全州アリラン



32、市内武佐学区にある長光寺の寺は安産の仏様として信仰を集めています。推古天皇の頃、聖徳太子によって創建されたという名刹です。このとき太子がお妃の平産を喜び植えられた木（植物）は何ですか。別名「はなかえで」とも「おたふくの木」ともいわれ市の指定天然記念物になっています。日本最南端に生息している植物学上も、貴重な木です。

ハナイチョウ アカスギ ハナノキ ハナクソノキ ハナミズキ



33、朝鮮人街道（ちょうせんじんかいどう）は、近江国（滋賀県）に存在した近世の脇街道である彦根道（ひこねみち）、京道（きょうみち）および八幡道（はちまんみち）の異名である。中山道（上街道）との比較で下街道・浜街道、あるいは朝鮮人道、唐人

街道などともいわれた。距離は約 41km。滋賀県野洲市行畑で中山道から分岐し、琵琶湖沿いを仁保～小船木から八幡へ入り西ノ庄・安土・彦根を經由して、滋賀県彦根市鳥居本で再び中山道に合流した。元元は織田信長が岐阜城から安土城を經由して京都に向かう道として整備したものであるが、徳川家康が関ヶ原の戦いに勝利し凱旋した街道として別名「●●街道」とも云われる。そのため將軍上洛用に使われ、参勤交代での使用は認められていなかったが、唯一朝鮮通信使には通行が認められていたため「朝鮮人街道」の名がある。関ヶ原合戦に勝利した家康が通った縁起のよい朝鮮人街道の別名を何というか。

さざなみ街道 戦勝街道 上洛街道 凱旋街道 勝利街道 ☐

34、江戸時代、朝鮮通信使の通行は前後 12 回。宿泊地は彦根市の宗安寺で、「李朝高官の肖像」が残されている。昼食所として近江八幡市の本願寺八幡別院が使われ、現在も「副使の書」が残されている。この朝鮮通信使の関連で縁地連の「第 8 回朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会 in 近江八幡大会」が開催されました。その時、天和二年（1682 年）第 7 回朝鮮通信使が、近江八幡の本願寺八幡別院で昼食を食べたという記録（慶應義塾大学図書館蔵「宗家記録」）をもとに三使（正使、副使、従事官）への饗応料理を再現製作もしました。その近江八幡大会を実施したのは近江八幡市と市国際協会で作った実行委員会ですが、通信使行列には市民あけて協力しました。その時だけは市内は朝鮮色に染まりました。（近江八幡大会があった）その年は何年でしょう。

2001年 2002年 2005年 2007年 2010年 ☐

35、秀次事件に連座して、京都河原で死刑になった「駒姫」は誰の娘（戦国大名の娘）だったのか。この事件で豊臣家に恨みをもった「駒姫」の親は、関ヶ原合戦では東軍につき、豊臣家の寿命を縮めた。その親の名前は。

伊達政宗 最上義光 黒田長政 藤堂高虎 池田輝政 ☐

36、近江八幡市の語源の「八幡」は日牟礼八幡宮からであるが、その日牟礼八幡宮の祭神は「応神天皇」となっているが、全国的な八幡神社系統の総社は「宇佐八幡宮」である。元々は、宇佐八幡宮には応神天皇が拝んでいた鍛冶の神が祭られていた。宇佐八幡宮は、秦氏が創建したと伝えられ「八幡」とは「ヤハタ」と読み「秦氏の神」を意味する。「八」は八百万神の八であり八岐大蛇の八であり、古代から「八」は聖数とされ、八を用いた八十（やそ）八雲、八咫鏡、同様に「数が大きい」（末広がり）という意味で用いられてきた。秦氏は弓月君を祖とする大陸系出身だろうと考えられている。さらに伏見稲荷大社も秦氏の創建で有名である。それはともかくとして、全国で一番、多い神社は次のうち何系統の神社であろうか。

八幡神社 稻荷神社 出雲神社 山王神社 熊野神社 ☐

- 37、イタリア・ロンバルディア州のマントヴァ市と近江八幡市は旧安土町との合併と同時に姉妹提携を結びました。元のマントヴァ市と旧安土町は何の縁で姉妹提携を結んだのでしょうか。

安土城屏風絵 天正遣欧使節 水環境の保全 県と州が姉妹提携を結んでいる関係から 信長サミット関連で

☐

- 38、文禄・慶長の役の後、朝鮮通信使が派遣されるきっかけとなった探賊使の四暎大師（サミュンテッサ）は、密陽市出身の義僧です。秀吉軍に捕虜とされた朝鮮人民を連れ帰ることが目的でした。以後第1回～4回の朝鮮通信使は主に戦後処理が任務でした。日本でも有名な四暎大師は、日本名では何と呼ばれていますか。親善で密陽市に行ったら必ずこの人のミュージアムに案内されるでしょう。

川崎大師 松雲大師 朝鮮密陽大師 村雲大師 東照権現大師 ☐

- 39、豊臣秀次の子孫が生き延びていたことを知っていますか。近江八幡市の洞覚院には秀次の娘「玉姫」の御廟所があります。おそらくそれは幼い時に亡くなったものでしょう。ちなみに、秀次には多くの側室と子どもがいましたが、秀次事件で、秀吉によってほとんどが処刑されています。そんな中で、秀次の正室一の台（菊亭晴季の娘、秀次事件で処刑）が生んだ娘が一人だけが生き延びていました。彼女（隆清院＝なお又は清子ともいう）は、真田信繁、通称真田幸村に側室として嫁ぎました。娘、息子を一人ずつ授かり、大坂の陣で信繁（幸村）が討ち死にしてから、秀次の母（とも）を頼って、瑞龍寺に身を寄せたりしながら、逃げ延びることができたようです。その隆清院の娘、お田（おたあさま、御田姫・顕性院）は、大坂の陣のあと徳川方に捕まりますが、江戸の大奥で3年間働くという比較的軽い処分です。大奥といえば、「お江」の居場所です。その江戸城に「大奥」を作り「お江」と対立した人物は誰でしょうか。

春日局 大蔵卿 淀君 桂昌院 天英院 ☐

- 40、徳川秀忠の正室お江（江与）の義理の兄＝秀次の孫に当たる娘さんが、巡り巡って「お江」のそばで働いていたのも不思議な巡り合わせです。大奥でのお勤めを終えたあと、お田は、出羽（山形・秋田）亀田藩藩主、岩城宣隆に見初められ、側室として嫁ぎ、跡継ぎを産みました。隆清院の息子、幸信も、姉のお田が嫁いだ岩城宣隆に引き取られ、亀田藩に仕えました。幸信は元服後、秀次が養子に行く前の元々の名字、「三好」を名乗りま

した。会うことさえ叶わなかった祖父の名前を、大事に守って生きたのです。隆清院・お田・幸信は今、秋田県由利郡岩城にお田が開いたお寺、妙慶寺のお墓で眠っています。妙慶寺は、顕性院が真田家菩提の為、寛永6（1629）年に建立した寺です。悲劇的な最期を遂げた秀次ですが、その子どもや孫はどうか生き延びて厳しい運命に立ち向かい遠い地でがんばって生き抜きました。秀次の生きた証は、ちゃんと次の世代に繋がっていました。さて、隆清院は真田信繁の側室でしたが、信繁の正室（竹林院）は誰の娘（その武将の名前が問題です＝信繁の義父）でしたか。その正室の子ども（嫡男）に真田十勇士に数えられる真田大助幸昌がいますが大阪夏の陣で秀頼と共に（討死）亡くなりました。

石田三成 本多忠勝 大谷吉継 上杉景勝 伊達政宗 ☐

4 1、近江八幡市池田町の生まれで、生家は八幡商人で代々「薬屋」を営んでいた。江戸時代には、町衆代表の一人として横暴な代官（当時、八幡は天領であった）から朱印状を勝ち取ったとされています。朝鮮通信使が八幡を通過するときには、家に行列の一行を休憩させたと記録にもある由緒ある家系です。亭主は代々「五兵衛」を名乗った。そのため屋号は「薬五（ヤクゴ）」という。その家から出た日本国の大臣（総務大臣、文科大臣等を歴任）を務めた人の名前は何と言うか。彼の兄は近江八幡市長を務めたことがあります。

川端達夫 武村正義 川端五兵衛 宇野宗佑 細野豪志 ☐

4 2、1579 年（天正 7 年）、安土城下の浄厳院で行われた浄土宗と法華宗との仏教に関わる宗教問答のことを一般に歴史書では何というか。別名は安土問答とも称されている。織田信長の命により、浄土宗の僧と、法華僧の間で行われた。5 月 27 日、安土城下の浄土宗の浄厳院で問答をさせた結果、法華宗が負けて、今後他の宗派を非難しない旨を記した誓紙を出させられたという。その寺では今も「かちどき念仏」が継承されています。

安土宗論 安土裁判 安土説法 安土教化 安土論争 ☐

4 3、JR 安土駅の南広場にある大きな相撲櫓。「平安楽土」から「安土」の名が付いたとされる安土時代に織田信長が興行としての相撲を奨励し、東西制の導入や丸い土俵の原型を考案者したとされています。それまで相撲は神事であり武芸であった。信長自身が相撲好きであり、堀久太郎や氏郷や阿閉なども参加したとあり、5 回も常楽寺で大相撲安土場所を主催していると「信長公記」にも相撲の記載あり。そのため元亀元年(1570)に織田信長が開催した相撲興業が近代相撲の発祥と言われています。安土では近代相撲発祥の地とい

うことでこの土俵櫓のモニュメントがあります。相撲といえば長田町地先に「力士塚」があるのをご存知ですか。安土の相撲試合に出場した力士が倒れて亡くなったのをかわいそうに思った村人が塚を立てたということです。金田小学校の前の道を杉森・長田方面に行けば見えます。それでは、問題です。世界にも日本相撲（角力）とよく似た格闘技がありますが、いま日本にいる外国人力士で、一番多く経験している出身国の格闘技はどれですか。

ブフ（モンゴル相撲） ブータン相撲 ケネ（チベット相撲） シルム（朝鮮相撲）
ヤールギュレシ（トルコ相撲）



4 4、近江商人の商売の方法はいわゆる「のこぎり商法」といわれるものであったが、江戸時代中期になると蝦夷地に渡り、松前藩士の知行地の「場所請負」の制度でもって、知行主に運上金を納めさえすれば、その場所からとれる産物を流通交易（産物廻し）したり漁場開拓などの商売で北海道開発に携わって貢献した近江商人も多くいる。八幡商人では、古平・小樽を拠点として活動し、登別温泉を発見したとされ、屋号を恵比寿屋と称した八幡商人は誰ですか。

岡田弥三衛門 西川伝右衛門 近藤重蔵 藤野喜兵衛 西川庄六 ☐

4 5、豊臣秀次の家臣に、浅井 井頼（あざい いより）という武将がいた。通称は喜八郎。浅井長政の三男（または次男）で浅井万福丸の弟と伝わる。号は作庵。天正元年に織田信長によって浅井氏が滅ぼされたとき、信長の残党狩りから逃れた。1583年の賤ヶ岳の戦いで羽柴側に属し、その後に豊臣秀次の家臣となり、600石の知行を与えられる。1600年関ヶ原の戦いでは生駒親正の隊に属し、西軍に付いた。慶長19年（1614年）、大坂冬の陣で大坂城に入り、二の丸の東を守備し、落城後に大坂を脱出し、常高院（お初）を頼り若狭小浜藩の京極忠高の家臣となって「京極作庵」と名乗ったとされる。また、香川県丸亀市の京極家の菩提寺である玄要寺に浅井井頼と伝わる墓がある。さて浅井長政も近江八幡で生まれたとされているが、次の人物で近江国（滋賀県）の出身（生誕地）でない武将は誰か。

京極高次 蒲生氏郷 藤堂高虎 石田三成 山内一豊 ☐

4 6、市内には、神仏習合で実施される「十三仏講」（5月15日：廻り念仏講）が今に伝わっています。日牟礼八幡宮と仏光寺八幡別院が同席し、神事と併せ念仏和讃を唱えます。明応年間、近江国に疫病が流行したとき十三カ村惣中（八幡まつりの氏子郷）に仏光寺

より仏画十三幅の図画が下賜され、八幡宮拝殿にその十三幅を掛け、宗派の別なく念仏和讃を勤めたところ疫病も止んだ、と言われており、その十三仏の廻り念仏講が今も各村で回り持ちで行われます。その仏画に書かれている「仏様」は何という如来でしょうか。なお通常、十三仏信仰といわれる十三回の供養（初七日～三十三回忌）をそれぞれ司る仏・菩薩で知られる閻魔・初江王をはじめとした十王信仰とは別のものです。

釈迦如来 薬師如来 大日如来 阿弥陀如来 毘盧舍那如来 ☐

47、安土セナリヨ（初等神学校）は、昔、天正9年（1581年）日本最初のキリシタン神学校としてイエズス会のオルガンティノ宣教師（神父）が信長に働きかけ建設されましたが、安土城炎上の際にセナリヨも焼失しました。今は跡地として公園になっています。イエズス会で日本に最初に布教にきた人は、フランシスコ・ザビエルです。同時期にイエズス会はポルトガルの先兵として世界に布教を開始しています。今でもカソリック教徒が80%を占めるイエズス会が先兵となり布教した国はどこですか。「滝」で世界的に有名です。

カナダ ブラジル フィリピン インド チリ ☐

48、織田信長は、南蛮からの文化に興味を示し、自分の甲冑も南蛮胴にしてしまうぐらいです。キリスト教も庇護して布教に支援しました。その結果、信長の家臣・陪臣には結構、キリシタン大名が多くいます。高山右近、蒲生氏郷、有馬晴信などです。では豊臣秀次関連で言えば豊臣秀吉の家臣であった次の者のうちキリシタン大名は誰ですか。

加藤清正 黒田官兵衛 竹中半兵衛 山内一豊 仙石権兵衛 ☐

49、千利休が賜死したのは秀吉の朝鮮侵略に商人の立場から反対したからだと言われていいます。また日本軍と戦った朝鮮の忠臣李舜臣（イムジン）の銅像がソウルやプサンに立っています。2012年5月から8月にかけて韓国麗水市でEXP02012が開催されました。麗水市は壬辰倭乱のとき李舜臣が水軍基地を置いたところでもあります。さて、その李舜臣が使った戦闘船を日本語で何と呼びましたか。

千石船 安宅船 鉄張軍船 亀甲船 鯨船 ☐

50、「洛中洛外図屏風」（上杉本）は狩野永徳が描いた屏風絵を織田信長が上杉謙信に同盟の証しに送った当時の風俗を知るには貴重で大変歴史的に有名なものである。同じ狩野永徳に描かせた金箔屏風に「安土城之図屏風」がある。安土を訪れたイエズス会宣教師アレッサ・ヴァリニャーノからローマの教皇庁にその「安土城之図屏風」が送られたと、同じ宣教師のルイス・フロイスの「日本史」に記載がある。ヴァリニャーノが離日するとき、同行した日本の使節団がいたが、彼らを何と呼ぶか。彼らは九州のキリシタ

ン大名大友宗麟や有馬晴信の名代として伊東マンショを正使とする使節団であるが、安土のセナリヨで学んだ生徒の中から選ばれていたという。なおセナリヨ（神学校）は当時安土にしか存在していません。

文久遣欧使節団 慶長遣欧使節団 天正遣欧少年使節団 岩倉遣外使節団
万延元年遣米使節団



5 1、近江八幡市安土町石寺。ここに我が国最大級の山城跡が残っている。山頂近くに西国札所第三十二番の名刹、観音正寺があるので観音寺城という。鎌倉初期からの近江守護職、六角佐々木氏の居城である。一般に佐々木六角と呼ばれていた。応仁の時代に築城され、弘治、永禄の戦国時代を迎えるころ、佐々木氏の支配下にある近江南部の各武将がこの城中に屋敷を構え兵を置いていた。安土山と峰続きの織山に今も残る巨大な遺構は安土城後も観音寺城は廃棄されず詰めの城として残された証左といえる。長政の義理の兄（信長の妹を妻にする）である織田信長に敗退後、一時期六角氏は歴史上から遠ざかるが、六角義郷が豊臣秀次に見出されて家臣となり1万石を与えられて六角氏を再興する。義郷と共に取り立てられた六角系家臣の多くが秀次の直臣となっており、秀次の処断後、秀次付の家臣として連座切腹となった木村重茲（常陸介）・熊谷大善はその代表格である。さて、六角義賢・義治父子のころ近江北部には浅井長政がいた。この長政も人質時代に六角氏の居城で生まれている。彼が六角氏と袂を分かち信長と同盟を結ぶのは何という合戦に勝利した以後（賢政から長政に改名）であったか。ちなみに肥田城合戦は、戦国時代の最初の「水責め」として有名です。

肥田城合戦 野良田の合戦 姉川の合戦 瓶割山合戦 小谷城合戦



5 2、約1200年前中国から日本にやってきたと言われ、栄養面で優れた食品であることから厳しい修行をする僧侶の間でも古くから食されてきました。原料は小麦粉と塩と水で、これをよくこねて水の中でもみ洗いすることにより澱粉が流れ出し植物性タンパク＝グルテンが残ります。このグルテンが元となった食品です。近江八幡開町の祖「豊臣秀次」が兵糧食として携行に便利のように四角の物を作らせたのが始まりといわれます。この食品の表裏には城下の民を忘れぬために小径を表す印として線が入っています。そして、この条里制の～丁、～字、を表す言葉が食品の名前になりました。その近江八幡の特産品は何ですか。それを入れた「からしあえ」は郷土料理としても有名です。

白ねぎ 赤しぐれ 赤こんにゃく ちょうじ麩 湯葉



5 3、近江商人は大阪商人、伊勢商人と並ぶ日本三大商人の一つである。江戸時代になる

と京都の他に、大坂や江戸といった大都市に進出し、蝦夷（北海道）とも商いをする者も現れて、名のある大企業として今も名を残している近江商人（八幡商人だけではありませんが）は高島屋、大丸、西武グループ、伊藤忠商事、丸紅、ヤンマー、日清紡、東洋紡、日本生命、東レ、ワコール、西川産業、武田薬品などである。そんな近江商人のうち八幡商人が商家として残したのが新町通りであり、切妻造、瓦葺、平入の木造建築には「うだつ」が基本である。正面の構えは格子や出格子、虫籠窓からなり、道路に面する庭には「見越しの●」が有名である。道路に面する塀の向こう側の庭には、何があるのか。八幡商人は正面の表に金をかけたという。ちなみに日野商人は奥座敷、五個荘商人は庭に贅沢したという。

地蔵さん お稲荷さん 松 竹林 桜 □

- 5 4、「ふな寿し」は滋賀県独特の保存食です。同じ保存食ですが、現在の「あけぼの印」の缶詰は近江商人（豊郷）の藤野四郎兵衛が「星印」の「シャケ缶詰」として1891年に製造を開始したのが、その前身である。それに先立つ1886年、同じ近江商人（近江八幡出身）の商人が「カニ缶詰」工場を近江八幡に設立しているが、その人物の名前は誰か。八幡銀行の設立（初代頭取）にも関係している人物で初代は南津田出身の八幡商人であり屋号は「中一商店」（住吉屋）の第10代目といえは知っている方も多いと思う。

西川貞二郎 一柳米来留 中井源左衛門 外村宇兵衛 堀井新次郎 □

- 5 5、織田信長が当初、安土城下で保護したキリシタンはポルトガル系のイエズス会でしたが、やがて、スペイン系フランシスコ会の宣教師などが、日本人を奴隷として海外へ売り飛ばしている事実を九州の地で知った豊臣秀吉は、キリシタン布教を禁止した。そのときの南蛮支配地といわれる東アジアの国々のなかで、スペイン王の名前を冠した国がある。それは次のうちどれか。

マレーシア フィリピン ジャワ ベトナム ビルマ □

- 5 6、織田信長が浄土宗の僧貞安を開山として、安土問答で勝ったご褒美として信長が安土城下に1580年に建立したお寺ですが、八幡城下町を作る際、豊臣秀次が現在地（八幡城下）に移転したとされています。そのお寺の境内には「五輪塔」があり「織田信長の墓」だとされています。このお寺の名前は何でしょう。

西光寺 洞覚院 冷泉寺 閑大寺 西福寺 □

- 5 7、キリスト教史学会常任理事を務めておられた故助野健太郎・聖心女子大学名誉教授の蔵書を寄付していただいて「安土文庫」が安土図書館にできている。さすがにマニアには垂涎的である。安土といえば「信長サミット」が1984年に第一回が安土町で開催されて以来、28年になる。参加自治体も天童市や岐阜市、大垣市、清須市などが参加し、

益々拡大している。それとは別に森蘭丸のキャラクター「らんまる君」があちこちに出没しているという噂です。岐阜市可児の「森蘭丸祭り」には必ず参加しているらしい。安土城址にも森蘭丸の屋敷跡があるが、本能寺で蘭丸・力丸・坊丸の三兄弟は討ち死にしている。残った次兄の森（武蔵守勝蔵）長可は「鬼武蔵」と呼ばれた武将であったが、豊臣秀次（秀次と長可は池田恒興の娘を妻にしている）とも関係あるが、徳川家康との合戦で討ち死にをしている。その合戦を何というか。なお父の森可成は近江坂本の宇佐山の戦いで戦死している。森家は長可の弟の忠政が継いでいる。

小牧・長久手の合戦 関ヶ原合戦 賤ヶ岳合戦 山崎の合戦 長篠の合戦

□

- 5 8、近江八幡市安土町にある天台宗の寺院（本尊は薬師如来）であるが、繖山（観音寺山）の中腹にあり西国33番札所の観音正寺に登る途中に位置する。寺伝では、天智天皇の頃、勅命により藤原鎌足の子「定恵」が創建したという。寺名は定恵が唐から持ち帰った桑の実をこの地にて栽培し、日本で最初に養蚕を始めたことに由来するという。室町幕府時代には第12代足利義晴が、ここに仮の幕府を置いたというし、第15代足利義昭も織田信長を頼った時に、ここに滞在したという由緒ある寺である。その寺を何というか

総見寺 浄厳寺 教林坊 桑実寺 石馬寺

□

- 5 9、安土城築城と同時期の創建で丹羽長秀が織田信長の命令により織田家の菩提寺として安土城郭内に作ったとされる、臨済宗妙心寺派の寺院である。本尊は織田信長であり、二王門（楼門）、三重塔は重要文化財である。住職は代々織田家の関係者が勤めていた、近江八幡市安土町にある寺院の名前は。

円満寺 莊厳寺 浄厳寺 総見寺 冷泉寺

□

- 6 0、琵琶湖には「沖島、竹生島、多景島、沖の白石」の4つの島があります。この中で、人が住んでいるのは沖島だけです。淡水湖で、人の住んでいる島があるのは世界でも珍しいそうです。沖島は今は廃れたが、かつては世に聞こえた石材の産地であった。島のガイド書によれば江戸時代から昭和40年代まで、沖島は採石場として栄えました。石英班岩と呼ばれる良質の石は、明治時代の琵琶湖疎水、南郷洗堰、国鉄東海道線などの工事に使われたのだそうです。その沖島にも立ち寄ったであろう、明治期に琵琶湖にキリスト教の伝道船を浮かべて、キリスト伝道をしたアメリカ人がいた。ウィリアム・メレル・ヴォーリズ氏である。彼は、琵琶湖をイエス・キリストが伝道したイスラエルの地にあったガリラヤ（驚きだが、ヘブライ語でハーブ＝楽器の琵琶の意味である）湖に見立て「神の国」の伝道師として自分を重ね合わせて見ていたといわれる。彼が乗った伝道船の名前はなにか。小豆が浜にはその船艇倉庫跡がいまもある。

パウロ丸 イスラエル丸 ヘブライ丸 ガリラヤ丸 ヨハネ丸 ☐

- 6 1、佐々木六角氏の居城であった「観音寺城」は朝鮮式山城という様式で作られている。朝鮮式山城とは、古代に造られた山城で、白村江の敗戦の翌々年の 665 年から唐や新羅の日本侵功に備えて築かれた城をいう。朝鮮式山城と呼ばれているのは、この時の亡命百済貴族が築城の指導にあったことからそう呼ばれるようになった。一時期は古代豪族の狭々貴山君が佐々木氏の祖先とされたが近江守護の佐々木氏は平家打倒時に近江守護に任じられているので今では別物とされている。それはさておき、白村江は大韓民国 扶余・白馬江の下流で起こった合戦であり、唐・新羅連合軍によって滅ぼされた百済を復興させるため、大和国（天智天皇軍）が戦った最後の戦いが日本では白村江（はくそんこう、はくすきのえ）である。百済・扶余の都が滅亡するとき、百済の扶蘇山城の女官たちが白馬江に身をなげた岩を何というか。今ではそこに皇蘭寺（コランサ）というお寺がある。なお韓国・扶余は日野町・旧蒲生町が姉妹都市を結んでいた町である。扶余へはソウル(地下鉄3号線南部バスターミナル駅)から高速バスで2時間11000wで行けます。ぜひ一度行ってみてください。

落下傘岩 落花岩 皇蘭岩 百済岩 自殺岩 ☐

- 6 2、豊臣秀次は、三回養子に出されている。1 回目は3 歳（治兵衛）の時、宮部継潤の養子となり、2 回目は実父、弥助＝吉房とともに三好長慶の養子となり「孫七郎信吉」を名乗り、のち叔父、秀吉の養子となり「羽柴秀次」を名乗る。問題は第2番目の養父である「三好長慶（笑巖）」は、家臣に松永久秀を持っていた関係で、ある将軍と対立していた。その将軍とは誰か。

足利義輝 足利義昭 足利義政 徳川秀忠 足利義栄 ☐

- 6 3、松永久秀は三好長慶の勢力が衰えると、織田信長の家臣となるが、第三次織田包囲網で毛利家や上杉謙信はもちろん、織田方であった別所長治や荒木村重が謀叛すると松永久秀もともに叛旗を翻した。結果的には、松永久秀は大和信貴山で鎮圧され、信長がほしがっていた宝物と一緒に爆死するのだが、松永久秀とともに失われた宝物とはなにか。

西洋式のカトリング砲 スペインのカノン砲 平蜘蛛の茶釜 足利將軍家に伝わる名刀 新式銃の設計図

☐

- 6 4、織田信長が世に出て名を他の戦国大名に知られるようになったのは、「桶狭間の合戦」で今川義元を打ち取ってからである。今川義元は北条早雲の妹の孫にあたり、早雲の直孫である氏康とも鳩子であり且つ義元の姉（瑞渓院）は妻である。織田信長に敗れるま

では戦国最強の武将と云われていた。では今川義元の教育係兼軍師であり、京都五山での修行中に松波庄九郎（後の斉藤道三）とも面識があったといわれる。今川の武将僧は何という名前か。

太原雪斎 安国寺恵瓊 快川紹喜 沢庵宗彭
南光坊天海 □

6 5、織田信長の義父である斉藤道三は松波庄九郎と名乗っていたが、その前は日蓮宗の妙覚寺の法蓮坊といった。父の長井新左衛門尉も美濃の出で京都の妙覚寺の寺侍であったといわれるが、とにかく京で油屋の経営を足掛かりに、彼は美濃にくだり、守護大名の土岐頼芸に仕える。かつて（妙覚寺時代）は「法蓮房」と呼ばれた庄九郎は、土岐氏を美濃から追い出し、美濃を手の中に入れるのであるが、道三の娘婿である織田信長も同じように尾張の守護大名を追い出し、戦国大名となっている。その時の尾張の守護大名の家は何氏であったか。

大崎氏 畠山氏 斯波氏 上杉氏 一色氏 □

6 6、フランシスコ・ザビエルは日本に来た宣教師ですが、山口市には「ザビエル教会」もあります。しかし、眠っているところはインドのゴアというところですよ。こうした宣教師も含めて、植民地主義的な海外進出に乗り出しますが、「大航海時代」の幕を開けたバスコダガマはポルトガルの国王に命令されてでした。では、ヨーロッパ諸国がこのように「大航海」に乗り出した直接の原因は、オスマントルコによってアジアからの通商が陸上からでは困難になったから「海の道」を開拓したと云われていますが、アジアからヨーロッパに持ち込まれた産物でヨーロッパが必要としたものは何んでしょうか。

胡椒 トマト トウモロコシ かぼちゃ 絹 □

6 7、織田信長の三大合戦のうちの一つ、姉川の合戦は「織田信長」と「浅井長政」が戦ったことで有名ですが、そのとき、羽柴秀吉が、小谷城が見える場所に城（出城・付け城）を築くことを織田信長に命令され、秀吉の「出世城」といわれました、湖北の城をなんというか。山麓には石田三成の故郷石田村がある。

長浜城 虎御前山砦 佐和山城 金ヶ崎城 横山城 □

6 8、賤ヶ岳の合戦は、羽柴秀吉と柴田勝家の戦いだったが、織田家の勢力を二分しての戦いであり、これに勝利した秀吉が信長の作り上げた権力と体制の継承者となるのであるが、この時「賤ヶ岳七本槍」といわれた武将が七人いる。「福島正則、加藤清正、加藤嘉明、脇坂安治、平野長泰、糟屋武則、片桐且元」の七人である。このうち浅井長政の家臣であった近江出身の武将は脇坂安治と片桐且元の2名がいる。この七名のうち、関ヶ原の合戦で、唯一西軍に味方した武将（大阪の陣で反豊臣方になったものも含む）は誰か。

糟屋武則 加藤清正 平野長泰 加藤嘉明 脇坂安治



69、尖閣・竹島では日本政府の弱腰外交が指摘されているところですが、その昔にも、ヨーロッパからの植民地主義的南蛮貿易に対抗して、戦国～安土桃山～江戸時代の初期（鎖国が始まるまで）には日本からも多く海外に雄飛して出国（商人や合戦浪人など）しており、ベトナムやタイには日本人町がつくられていました。彼らは江戸幕府の鎖国と同時に棄民となりました。歴史にifはないが、豊臣秀吉の「朝鮮侵略」が韓国ではいまでも悪として歴史で教えられています。しかし、信長―秀吉と継承された、アジア対南蛮（ヨーロッパ）の戦略としてはあながち間違いであったとはいいきれません。戦術的には、李朝朝鮮を相手にするより、頭角を現してきていた金国＝女真部族と同盟を結び、衰退著しい「明国」を両方で攻撃すれば、必然的に李朝鮮も明国も降せたと思われる、のですが……。明治維新政府が太閤秀吉を持ち上げた理由もこのへんにあります。さて、文禄・慶長の役は1592年と1598年ですが、女真・建州族の愛新覚羅ヌルハチが明に最初の反乱を起こしたのが1983年で、建州女真を統一し明に対抗して後金を建国したのが、それから5年後である。この時期に明国や朝鮮国は動乱の嵐（文禄・慶長の役）に翻弄されている。だから、日本も豊臣秀長や千利休が生きていて、竹中半兵衛なみの軍師がついていれば、戦術さえ間違わなければ、「文禄・慶長の役＝朝鮮・明国との戦い」という愚かな合戦も無かったかもしれないのである。歴史のifが悔やまれる。ところで、この時期の「女真族」＝が「明」国を倒して建国する国を何というか。

契丹国 渤海国 満州国 清国 ムガール帝国



70、船木町にある 浄土宗宝池山西願寺は、豊臣秀次公を開基とする寺院です。上杉謙信を見習い武人の毘沙門天の信仰・祈願所として建立されましたが、今は阿弥陀如来や薬師如来もおられます。住職の金森昭憲さんは、特技あることで布教をしています。それはなんでしょう。

よし笛の演奏 琵琶による説法 手品・マジック 腹話術 雅楽の演奏 ☐

71、仏教の四天王にちなんで、優れた者を指して徳川四天王とか織田四天王と云われる。徳川家康の四天王は酒井忠次・本多忠勝・榊原康政・井伊直政を言い、織田信長四天王は柴田勝家・滝川一益・丹羽長秀・明智光秀を言う。ここに羽柴秀吉を入れた場合は「五大将」という。では、織田四天王のうち、近江国（滋賀県）の出身でありながら近江に城がもらえず、関東を中心に戦った軍団長で、その昔、忍者服部氏と双璧をなした伴氏の流れをくむ人物の出身地は今のどことされているか。親族に前田慶次郎利益がいる。

高島市 大津市 甲賀市 彦根市 米原市 ☐

72、昔から、「きゅうり封じの寺」として親しまれていて、観音山広場には、俳句碑「一

声の江の横たふや ほととぎす」「五月雨に鳩の浮巢を見に行かん」などや、木の中地蔵尊（国指定重文）や十一面観音立像（重文）がある。山下の街道は昔、朝鮮通信使が通った街道である。そのお寺の名前は何か。

願成就寺 極楽寺 東福寺 西願寺 海雲寺 □

7 3、剣術指南と云えば徳川家康と柳生石舟斎・宗矩が有名であるが、「豊臣秀次」の剣術指南役は、柳生石舟斎よりも強かったと云われる「疋田陰流」の創始者疋田文五郎景兼である。「新陰流」の上泉信綱の姉を母に持ち、早くから信綱に師事して剣を学んだとされる。同門の「神後伊豆宗治」（信綱高弟）も秀次の剣術指南役になっている。このように「新陰流四天王」と言われた疋田景兼、神後宗治の2人に師事した秀次も相当な腕前であったといわれている。では、疋田景兼、神後宗治、柳生宗厳（石舟斎）ともう一人を加えて新陰流四天王というが、それは誰か。

林崎甚助 丸目蔵人 伊藤一刀斎 吉岡憲法 塚原ト伝 □

7 4、狩野永徳が描いた「安土城屏風」がローマの教皇グレゴリウス13世に渡り、以後行方が分からなくなっているが、同じく織田信長が狩野永徳に描かせ上杉謙信に送った「上杉本、洛中洛外図屏風」は国宝に指定され現在まで残っている。さて、上杉謙信は、関東管領を、後北条氏の圧迫から逃れた山内上杉の憲政に譲られて「上杉」を名乗るのだが、関東では、山内上杉家のほか扇谷上杉家、古河公方（足利）、堀越公方（鎌倉公方）などが争った享徳・永享・長享の乱・永正の乱が有名である。その時、山内上杉の家宰として越後守護代の長尾為景の同族であった長尾景春がいれば、同様に扇谷上杉家には家宰として、川越城や江戸城を作った人物で「七重八重 花は咲けども 山吹の実の一つだに なきぞ悲しき」の歌で有名な人物がいた。現在では豊島区神田川橋の近くに「山吹の碑」がある。足利学校で学んだとされている、扇谷上杉の家宰を務めたその人物は誰か。その人物は、文明12年、関東より上京せし時、老蘇の森にて「きわねただ 老曾の杜の秋風も 心にかよふ 袖の上の雲」と和歌を詠んでいる。その人物は誰か。

成田氏長 長尾景虎 上杉景勝 太田道灌 北条早雲 □

7 5、織田信長と戦った「石山本願寺」は、一向衆とも呼ばれたが、本当は「浄土真宗」の門徒と自らを呼ぶように気を付けることが「蓮如」のご文章で明らかであるが、真宗門信徒は、「死ぬことを厭わなかった」から強かったといわれる。その原因は正信偈の「往還回向由他力」による本願力の教え（往相回向・還相回向）にあると云われる。教義にいわく「阿弥陀如来の本願力によって信心をめぐまれ、念仏を申す人生を歩み、この世の縁が尽きるとき浄土に生まれて 仏となり、迷いの 世に還って 人々を 教化する。」往生とは本来死ぬということではなく、生まれていくという意味で、お浄土といわれる仏さまの世界へ生まれさせていただくことであります。「正像末和讃」には「浄土真宗に

帰すれども 真実の心はありがたし 虚仮不実のわが身に 清浄の心もさらになし」と、「真実の心」は虚仮不実の身である凡夫には無いと述べ、如来の本願力回向による名号の功德は十方にみちたまう。それでは、次ぎのうち浄土真宗の教えと違うものが、一つあるがどれか。

本尊は大日如来 悪人正機の教え 他力本願 現生正定聚 称名念仏

□

76、豊臣秀次付きの家老であった『田中吉政』は、当初、宮部継潤の家臣であった。田中吉政と秀次との接点は早く、秀次4、5歳の時（宮部継潤が秀吉の調略により浅井長政から寝返った時）からで秀次の養父（秀次からは第1回目の養子）となっていることから宮部家を通じて吉政とは深い交流があったと推測される。「田中」家はもともと近江人で、近江源氏佐々木信綱の4人の子のうち長男重綱が大原氏、二男高信が高島氏（朽木荘に住す＝のち朽木氏とも云われる）三男泰綱が六角氏、四男氏信が京極氏を名乗るが、「田中氏」は二男高島氏の末裔であると云われる。秀次の筆頭家老であった「田中吉政」は秀次事件ののち、関ヶ原では東軍側に立ち、石田三成を捕縛した張本人である。その功により筑後柳川の領地を与えられ大名となった。八幡堀を整備したのは「田中吉政」だといわれていますが、船下りで有名な柳川の掘割を整備したのも、田中吉政です。なにか因縁を感じます。なお、特に高島家庶系の朽木氏、田中氏、平井氏、横山氏などの高島七頭が西近江では勢力を持っており、戦国時代にも活躍している。この高島氏系統の同族の「横山」であるが（近江国横山村出身といわれる）「横山喜内」という人物がいる。彼は当初、近江国の六角氏に仕えていたが、織田信長に滅ぼされると、信長の家臣となった蒲生氏郷に仕えた。その時「蒲生」という姓をもらって「蒲生喜内」又は「蒲生郷舎」とも「蒲生頼郷」ともいった。蒲生氏郷が病気で亡くなると、彼はある人物に仕え、嶋左近清興と双璧をなし、関ヶ原の戦いで戦死する。小説「影武者徳川家康」の題材にもなっている彼が最後に仕えた主人は誰か。

石田三成 織田有楽斎 黒田長政 藤堂高虎 福島正則

□

77、同じく豊臣秀次付きの家老であった『山内一豊』は、「功名が辻」で有名な奥方の内助の功の逸話（安土にきた奥州の馬商人から、奥方のへそくりで馬を購入する話）が残されているが、もともと「山内一豊」の父は尾張の守護代であった岩倉織田氏の重臣であった。岩倉織田氏が織田信長に滅ぼされた後は、諸国を放浪したのち、信長・秀吉に仕え、長浜城主となり、秀次の家老となった。関ヶ原では東軍につき、土佐をもらう。一方、妻の「千代」は近江浅井氏家臣、若宮喜助友興の娘として弘治2年（1556年）に生まれた。幼くして両親を失い、近江坂田郡宇賀野（滋賀県米原市）で一豊の母に裁縫を習ったことが一豊との縁の始まりだといわれている。夫の功名をその優れた状況判断で支え続け、長浜、京、伏見、大阪等に転住し秀吉の妻おねと仲が良かったという。徳川の世になり、一

豊が土佐一国を授かり、土佐に移るが、夫の死後は、京に住んだという。関ヶ原では山内一豊の部下であった田中孫作（米原市出身）に届けさせた石田三成の挙兵を伝えた「笠の緒の密書」が有名な話である。さて、山内一豊が移封された土佐藩は、前領主の家臣であった「一領具足」を郷士と呼び、山内家の家臣を上士と呼んで区別した。では「一領具足」が仕え活躍した頃の元の大將（前領主）は何という武將（戦国大名）であったか。明智光秀とも近い関係であった。

三好長慶 蜂須賀家政 仙石秀久 長宗我部元親 大友宗麟 □

78、秀次の家臣で秀次事件に関連して、切腹した「明石則実」という播州出身の人物がいる。彼は、小寺官兵衛（黒田官兵衛）の従兄弟であり、官兵衛と共に秀吉に仕え、のち秀次に仕えている。関ヶ原で戦った宇喜多家の明石全登は同族である。このように秀次の家臣にはすごい人がごろごろ居た。例えば秀次に剣術指南をした人物の、「神後宗治」（神後流）は、剣聖といわれた上泉信綱の弟子である。もう一人、同じく秀次に剣術を指南したのは「疋田文五郎景兼」という疋田陰流の祖となった人物である。上泉信綱の弟子・新陰流四天王のうち二人に秀次は剣を習っているのである。あとの二人とは「柳生宗厳」（柳生新陰流）と「丸目蔵人長恵」（タイ捨流）である。俗に秀次の親衛隊（精鋭部隊）を「若江八人衆」というが、秀次の死後、多くは石田三成に仕え、関ヶ原で討ち死にしている。同じく秀次の家老をしていたが「秀次事件」で謹慎させられた「おね」の親戚筋で、子孫には「忠臣蔵」で有名となった播州赤穂藩の藩主がいた人物は、誰か。

浅野長政 黒田長政 池田輝政 杉原家定 木下秀俊 □

79、秀次の家臣になった者のなかには、変わり者もいる。秀次が小牧・長久手の戦いで大敗したとき、混乱の中、徒歩で秀次が逃げていた時、馬に乗って逃げる家臣を見かけ、秀次が「馬をよこせ」といったところ、その家臣は「雨の日の傘にて候」と答え、そのまま走り去ったという。つまり、自分が（逃げるのに）必要なものであるので、主君であっても譲ることはできない。と答えたという有名な逸話がある。秀次の怒りを買ったのは言うまでもない。当然その彼は浪人したが、その後、福島正則に仕えた。宝蔵院流槍術の開祖覚禅房胤栄に槍術を学んで「槍の○○」と異名をもつ、その武士の名前は誰か。常に笹の指物を背負って戦い、倒した敵の首の切り口に笹の葉を入れたので「笹の○○」ともいう。

可児（才蔵）吉長 佐々内蔵助成政 大崎玄蕃長行 渡辺半蔵守綱 長尾隼人正長重 □

80、近江八幡市と兄弟都市（姉妹都市）であるアメリカのカンザス州レブンワース市は、米英戦争時の士官ヘンリー・レブンワースからつけられた名前であり、近江八幡市の名誉市民のウィリアム・メレル・ヴォーリズ氏が生まれ、幼年期を過ごした地である。ミ

シシッピー川の近くにあるレブンワース市は、西部開拓の入り口にあたることから、西部劇に出てくるような場所(＝レブンワース砦)がある。マッカサーとも同郷だという。しかし、もう一つ、レブンワース市といえば有名なものがあるが、それは何か。

陸軍・連邦刑務所 宇宙航空司令部と空軍基地 バッファロー(野牛)のすき焼 金鉱山 アメリカ先住民・インディアンジュエリー ☐

8 1、豊臣秀次は、関白となって八幡城主から京都の「聚楽第」の主となるが、当時、京都は「お土居堀(洛中惣構・京廻りの堀)」によって囲まれていた。秀次の切腹と共に「聚楽第」は壊され、近江武士出身の豪商「角倉了以」により、高瀬川などが開削され「お土居堀」も壊される。しかし、「お土居堀」も一部は現存しており、「聚楽第」の一部も、現在、京都の「三閣(金閣、銀閣、飛雲閣)」の一つ、飛雲閣として残っている。では、その秀次が最後に過ごしたという「飛雲閣」は今はどこにあるのか。

二条城の庭園 西本願寺の庭園 東本願寺の庭園 知恩院の庭園
天龍寺の庭園

☐

8 2、豊臣秀次の養母であった「おね」は、豊臣秀吉が亡くなって「豊国神社」に祀られたとき、剃髪して近くの「高台寺」に隠棲した。関ヶ原前夜には、加藤清正、福島正則、徳川家康等が高台寺詣りをしたという。この「高台寺」が再び歴史に登場するのは幕末である。壬生浪といわれた近藤勇を中心とした「新選組」を分かち「御陵衛士」として「高台寺党」を結成するのである。その時「新選組」を離脱した高台寺党の中心人物は誰か。

山南敬介 伊東甲子太郎 芹沢鴨 藤堂兵助 武田観柳斎 ☐

8 3、1582年、織田信長が本能寺で明智光秀の謀反により斃されたとき、「安土城」も燃えている。このとき、「安土城」を燃やした人物はだれと云われているか。放火説等諸説あるが、一番、疑わしい人物で、定説と云われている者を選んでください。

織田信孝 織田信雄 明智秀満 蒲生賢秀 山岡景隆 ☐

8 4、柴田勝家には長光寺城主時代から六角氏の旧臣が多く家臣となっている。これは長浜城主の豊臣秀吉と同じく城持ち大名として近江出身者を多く雇用した結果である。柴田勝家はこれら家臣の他に北陸軍団長として大名級の「与力」がつけられている。前田利家、佐々成政、佐久間盛政、拝郷 家嘉(はいごう いえよし)などである。主君の織田信長の死後、柴田勝家と羽柴秀吉が天下の覇権を争った賤ヶ岳の戦いに出陣し、勝家方の将として参加したものの、合戦には傍観を決め込み、戦後、勝家の所領の大部分を受け継いだ武将は誰か。

前田利家 山路正国 佐々成政 佐久間盛政 木下一元 ☐

- 85、近江八幡市の宮内町の日牟礼八幡宮には「左義長まつり」と「八幡まつり」の二つの有名な「まつり」がある。そのうち「左義長まつり」は商売人の祭りといわれ、「八幡まつり」は十三郷（上ノ郷、下ノ郷）の農業用水の水利システムを軸にした農民の祭りだといわれる。その起点となった鷹飼町「井の島」の水源は今は無いが、「祭り」だけが伝わっている。「八幡まつり」は第1日（4月14日）を「松明まつり」といい第2日目（4月15日）を「○○まつり」というが、近年は若者の減少で担ぐ人の確保も困難な状況となっている。第2日目の八幡まつりを別名、何んと呼んでいるか。

篠田まつり 農業まつり 太鼓まつり 日牟礼まつり てんびんまつり

☐

- 86、八幡商人が代々継承してきた経営理念であり「売り手よし」、「買い手よし」、「世間よし」から成る。商取引において、当事者の売り手と買い手だけでなく、その取引が社会全体の幸福につながらなければならない、という考えを何というか。近江の武将石田三成の旗印だった「大一大万大吉」に通じるものがある。（三方よし）

先義後利 三方よし 四方よし 一人は万人のために、万人は一人のために
倏約・堪忍・正直 ☐

- 87、2009年東映映画で、山本兼一の小説「火天の城」が公開された。安土築城を描いた映画である。その映画で熱田の宮番匠（宮大工）岡部又右衛門を好演した俳優は誰か。

椎名桔平 西田敏行 西岡徳馬 笹野高史 夏八木勲 ☐

- 88、2004年改正文化財保護法による「重要文化的景観」第1号となった近江八幡市の景観地域はどこか。

新町通りの八幡商家町並み 日牟礼八幡宮と左義長まつり 篠田の火祭り 近

江八幡の水郷 ヴォーリズ建築群 ☐

- 89、土地改良区は土地改良法に基づく土地改良事業を施行することを目的として設立された法人で、水利施設の新設・改良や管理、開田畑、干拓、これらの災害復旧、農地の区画整理、交換分合などの土地改良事業を実施している。「水土里ネット（みどりネット）」という愛称で呼ばれているが、市内にもいくつかの土地改良区が存在しています。しかし、市内で唯一、水田をしてはならない土地改良区があります。それはどこでしょうか。

岡山土地改良区 日野川流域土地改良区 津田内湖土地改良区 琵琶湖用水土地改良区 水茎干拓土地改良区

☐

90、西の湖に和船を浮かべての水郷めぐりが、近江八幡観光の目玉の一つとなっているが、「春色、安土・八幡の水郷」として昔（琵琶湖国定公園が制定されて）から云われている景観名所のことを何八景の一つと言うか。

琵琶湖八景 近江八景 湖国八景 琵琶湖周航八景
安土八幡名所八景 □

91、近江八幡市の特産品といえば、この食品が有名です。かなりインパクトのある色をしています。といっても別に辛子が入っているわけではありません。食べてみると、ごくふつうです。この独特の色は、三二酸化鉄という食品添加物によるもの。しかもこの「食品」は近江八幡の奇祭としても知られる「左義長まつり」と信長に大いに関係があったことをご存知ですか。もとはといえば左義長まつりは、安土城下で織田信長が自ら女装して踊り出し、より一層祭りを盛大なものにしたのが始まりといわれています。その後安土城が廃城になり、隣の八幡山下に八幡城下町が開かれたことから、多くの町人が安土城下から移り住みました。このとき、左義長まつりの山車に飾られる赤紙にヒントをえて、近江商人が考案したと言われる説がありますがはっきりしたことは分かっていません。ただ、近江八幡では昔から、冠婚葬祭や学校給食等で幼い頃から生活と共に存在します。色は、三二酸化鉄という鉄分で染められていますので健康的にも優れた食品です。地元では古くから親しまれている八幡名物。医食同源、美味健康とも言われる通り、「鉄骨○○」とも呼ばれ、ノンカロリーのヘルシー食品としてダイエットにも最適です。その食品の名前は。

近江牛肉 ちょうじ麩 赤こんにゃく でっちゃんかん ういろ

□

92、祭りの起源は、はっきりしないが白雉4年（653年）遣唐大使として唐に渡り飛鳥時代に活躍した遣唐使の先駆けである「吉士長丹（きしながたに）」が祀られている近江八幡市宇津呂町の「公礼八幡宮（神社）」では、毎年、旧暦の六月一日に近い日曜にしもやけ封じの奇祭「公礼八幡宮足洗祭」（足洗い行事）が行われます。日本書紀では「吉士長丹」が唐の皇帝から封戸200戸と呉氏の姓をも与えられたとある。「吉士長丹」が賜った200戸の封がこの宇津呂の辺りで住わし、公礼は呉で、八幡小学校の近くにあり公礼八幡と呼ばれている。ところで、遣隋使として小野妹子を派遣したのは聖徳太子と云われているが、遣唐使を廃止することを天皇に建議した人物は誰か。

大伴家持 藤原不比夫 藤原道長 菅原道真 平清盛 □

93、近江八幡市の特産物として「竹製品」があげられますが、日本最古の物語といわれる「竹取物語」あるいは「かぐや姫物語」に登場する人物の石作皇子、車持皇子などは権力者の藤原氏がモデルであると云われている。この物語の作者についても諸説あるが一番有力な人物（作者）は次のうち誰か。

藤原定家 紀貫之 小野小町 紫式部 清少納言



94、今の子は童謡・唱歌をあまり知らない。しかし童謡・唱歌のなかで、近江八幡市の商家にあったものをルーツとしている歌があるという。それは、次のうち何の歌（童謡・唱歌）でしょうか。市内上田町に伝わった悲しい物語である。

花嫁人形 赤い靴 浦島太郎 ふるさと 近江八景



95、天下布武を掲げた信長にとって安土という土地がゆかりある土地であることは、よく知られているところです。通常の白ネギより身は太く、透き通るように白く、葉も青々として柔らかく、1本まるごと食べられる安土特産の白い根深の太ネギを何というか。食感は、肉厚でジューシー、甘みの強さに特徴があります。安土の生産者が、こだわりの持ち作ったもので、鍋の主役の一品や、そのまま焼いて味噌に付けて食べても秀逸の味となります。料亭をはじめ、有名イタリア料理店やフランス料理店でも幅広く活用されています。

天下ネギ 信長ネギ 関白ネギ 将軍ネギ 安土城ネギ



96、地元制作のドキュメンタリー映画「ほんがら」は松明まつりに使う松明の特殊な作り方（中を空洞にする）を75年ぶりに復活させた町の人々の物語であるが、その町（ちょう）とはどこか。奉納奉火は、4月15日（今は第三日曜日）に地元の若宮神社にされる。

若宮町 牧町 島町 多賀町 白王町



97、近江八幡の特産品に「丁稚羊羹」があります。丁稚羊羹の名称は全国的にあるみたいで、隣県の福井の丁稚羊羹は水羊羹系で、本市の丁稚羊羹は漉し餡系です。昔は商店には年季奉公の丁稚・女中がおりました。八幡商家は特に多かったといひます。近江商人ゆかりのお菓子「丁稚羊羹」この名前の由来は、今でいう店員が、当時は年に2回（盆と正月に）だけ実家に帰ることができました。結婚した年に嫁が嫁ぎ先から実家に帰ることも、そう呼ばれましたが、彼ら彼女らが実家へ帰る時のお土産にした、というのが「丁稚羊羹」のルーツだと云われています。逆に近江商人発祥の地「近江八幡」から全国へ丁稚奉公に出た子供たちが帰郷した折りに奉公先への主人へお土産として持ち帰ったことから丁稚の羊羹とも言われています。竹皮に包まれたこの素朴なお菓子は、かの有名な民俗学者「柳田国男」からも「これぞ近江の味」と絶賛されました。その丁稚等が年に2回、帰省できる制度を何と言いましたか。落語にもあります。特にお盆に帰省するのを別名「墓参り」とも言いました。

大山詣り 付き馬 時蕎麦 藪入り 芝浜



98、支倉常長を中心とする「慶長遣欧使節」を派遣したのは、豊臣秀次と仲がよかった

(秀次が秀吉に反乱をしていたら必ず秀次に味方したといわれる)東北の戦国大名であった。彼は、南蛮貿易が、東シナ海、インド、マダガスカル、喜望峰をめぐる海路であったのに対して、太平洋貿易を試みて、ヌエバ・エスパーニャ(メキシコ)廻りでスペインに行き、外交を実施している。その大名とは誰ですか。

結城秀康 小早川秀秋 加藤清正 伊達政宗 徳川秀忠



99、博労町にあった旧近江八幡市役所庁舎を桜宮町に移転したのが昭和45年です。その時、通称「官庁街道路」ができました。その官庁街道路の西には「石碑」が立っています。近江八幡市の中心部にありながら、車の通行量も多く、ひっそりと目立たない存在の「石碑」のいわれなどを知る市民も少なくなっています。碑にまつわる伝説は、豊臣秀次が八幡山城を築城した際に、秀次は腕利きの職人を広く集めたが、そのうち七人が、秘密工事(脱出路)に携わるようになったという。しかし、城の完成とともに、城の構造や部屋の配置などの秘密を知ってしまった七人の職人は処刑されてしまった。それを哀れに思った地元の住民が土を盛った土壌をつくり葬ったという。その「石碑」には何と書かれていますか。石碑は今でも地元の人たちによって大切にされており、地元自治会は、毎年九月の「敬老の日」に、近くの寺の住職を招き、石碑の前で法要を営んでいる。周囲が開発され、住宅地や商業地になっても、先人に対する思いは変わらないようです。

将軍首塚 黒橋合戦塚 長塚古墳の碑 七塚之碑 耳鼻口無塚 □

100、一柳満喜子女史を主人公にした小説が刊行されています。『負けんとき〜ヴォーリズ満喜子の種まく日々〜』上・下(玉岡かおる著 新潮社)です。彼女が地元の未就学児童を対象として始めた「プレイ・グラウンド」は「清友幼稚園」に発展、今日の近江兄弟学園へと発展。1969年(昭和44年)、ヴォーリズが逝去して5年後に彼女も永眠し、二人は共に同市北之庄町の恒春園に葬られている。さて「一柳満喜子」の家系(先祖)は「一柳直末」に始まる。元は美濃の土豪の出自。羽柴秀吉が織田信長に仕えていた頃から家臣だった古参の武将で、武勇に秀でていたことから「熊」の異名をとった。秀吉に仕えて各地を転戦して武功を挙げ、秀吉の黄母衣衆となった。天正13年(1585年)には田中吉政・中村一氏・堀尾吉晴・山内一豊らとともに豊臣秀次の宿老に任命され、美濃国に3万石を領した。しかし、天正18年(1590年)、小田原征伐に参加したが、その緒戦である伊豆国山中城攻めで戦死し、弟の一柳直盛が跡を継ぎ、近世大名へと繋がり、徳川幕府でも幕末まで続き、明治には子爵となっている。秀吉にとっても信頼されていた武将であり小田原の陣中であつた秀吉は黒田如水から直末討死の報告を聞いて「直末を失った悲しみで、関東を得る喜びも失われてしまった」と嘆き、三日間ほど口をきかなかったという(『一豊公記』)。家督は弟の一柳直盛が継ぎ、また、母らくにも直末の死を悼んだ豊臣秀次から800石の知行地が与えられた。この際の所領宛がい状は、女性相手というためか漢字がほとんど使われておらず、主にひらがなで構成されている(『一柳文書』)。岐阜県関市にある

一柳城は直末が築城・改修し、一柳の名をつけた城である。祖先が豊臣秀次の家臣だったこともあり、ヴォーリズ氏に嫁いでも近江八幡市に居住しつづけたとも云われている。そういった家系の満喜子氏だが幼いころは一柳子爵家でお嬢様として育ち、津田梅子の伝手でアメリカ留学もしている。このとき洗礼を受けたと云われているが、彼女が日本で通っていた学校は何というか。

神戸女学院 ノートルダム女学院 同志社女子校 津田塾大学 平安女学院

□

101、栃木県足利市にある「足利学校」は日本最古の学校として、平安時代に日本の白楽天といわれた小野篁（おのたかむら）が設立したとされ、室町・戦国時代には、関東管領の上杉家や北条氏により保護されており、安土・桃山時代には宣教師により世界にも知られている。小田原征伐により庇護者が滅亡すると「豊臣秀次」により保護されたが、一時、秀次により蔵書が京都に持ち出されたという事件が起こっている。しかし秀次は茶人でもあり文化人としても著名で、北条氏の保護がなくなり困っていた足利学校のピンチを救ったのは秀次であったのは事実です。文化財保護にも尽力するなど業績も多い方ですので足利学校の価値は知っていたと思われます。ただ歴史は勝者の都合によいように書かれるので、「秀次蔵書持ち去り事件」も時代が違えば別の評価になっていたでしょう。江戸時代には徳川家の庇護を受けている。現在は足利市教育委員会の管理にあり生涯学習の拠点となっている。さて、問題は開設者といわれる小野篁は小野道風や小野小町との関係者（一族）であるが、京都堀川北大路の「雲林院」近くには「小野篁と紫式部の墓」が仲良く並んで建っている。その二人の関係を探るのも面白いでしょう。また堀川「六道珍皇寺」には、小野篁が通っていた「井戸」があり、今でも観光客が後を絶たないということである。では、小野篁が夜ごと、この「井戸」から通っていたところはどこか。有名なお話である。

紫式部の部屋 御所（天皇の住まい） 藤原家別邸（宇治平等院） 阿弥陀仏の浄土 閻魔様のいる地獄 □

102、豊臣秀次の家臣であったが、秀次事件に連座して切腹させられた人物のなかには、元織田信長の家臣だった人が多くいる。桶狭間の合戦で、毛利新介とともに今川義元を討ったことで有名な彼もその一人である。「信長の鷹」という異名をもっており、先祖は伊賀忍者の服部半蔵と先祖を同じくした人物は誰か。余談だが、霧隠才蔵も本姓は服部才蔵といった。志能布（しのび）は聖徳太子にも仕えた大陸系の人と云われている。

田中吉政 中村一氏 服部小平太 森長可 黒田長政 □

103、豊臣秀吉の天下取りを助けたが、後に秀吉に恐れられ隠居させられた黒田官兵衛

は、元は長浜市の出身であるといわれています。彼も秀吉にうとまれましたが、うまく立ち回り関ヶ原では東軍についたのは有名です。また藤堂高虎も近江の出身で浅井長政に最初使えますが浅井家滅亡後は、豊臣秀長に仕官します。甥の藤堂玄蕃は豊臣秀次の家臣となります。同じ近江の出身で山陰で勢力を誇った尼子一族も甲良の尼子出身です。では最後の尼子氏に仕えた戦国武将で彼の子は大阪鴻池村で酒屋を営んだという。その人は誰か。我に七難八苦を与えよと言ったという言葉が有名です。

真田昌幸 山中鹿之介 雑賀孫市 竹中重治 片桐且元 □

104、市内にある比牟礼山願成就寺（通称、観音山）は「きゅうり封じ」や修験道のお寺として有名ですが、最近では木の中地蔵（地蔵菩薩）やパワースポットとしても有名です。もとは八幡山西側にあったのですが、豊臣秀次により八幡城が造られたときに移転させられました。聖徳太子創建の由緒ある寺院で天台宗ながら「びわこ百八霊場」の74番目です。現在は山が半分に削られてはいますが、この願成就寺の境内には有名な人物の俳句が三首も石碑に刻まれています。例えば「五月雨に鳩の浮巢を見にいかん」などですが、この俳句を詠んだ人物は次のうち誰でしょう。なお俳句とは室町時代の連歌の発句に始まり俳諧というのは明治になってからのことである。

与謝蕪村 松尾芭蕉 小林一茶 正岡子規 種田山頭火 □

105、豊臣秀次は、関白となって八幡城主から京都の「聚楽第」の主となるが、当時、京都は「お土居堀（洛中惣構・京廻りの堀）」によって囲まれていた。秀次の切腹と共に「聚楽第」は壊され、近江武士出身の豪商「角倉了以」により、高瀬川などが開削され「お土居堀」も壊される。しかし、「お土居堀」も一部は現存しており、「聚楽第」の一部も、現在、京都の「三閣（金閣、銀閣、飛雲閣）」の一つ、飛雲閣として残っている。では、その秀次が最後に過ごしたという「飛雲閣」は今はどこにあるのか。

二条城の庭園 西本願寺の庭園 東本願寺の庭園 知恩院の庭園
天龍寺の庭園 □

106、豊臣秀次の養母であった「おね」は、豊臣秀吉が亡くなって「豊国神社」に祀られたとき、剃髪して浄土宗本山知恩院近くの「高台寺」に隠棲した。関ヶ原前夜には、加藤清正、福島正則、徳川家康等が高台寺詣りをしたという。この「高台寺のおね」と仲がよかった「千代」という女性は、よく亭主を助け、関が原の合戦では、亭主に徳川に味方するように指示したといわれる。この千代の父は浅井家に仕えた武将で滋賀県出身である。千代のへそくりで馬を買ったという故事は有名であるが、さて、その亭主とは誰か。

黒田長政 山内一豊 金森長近 藤堂高虎 細川忠興 □

107、柴田勝家には長光寺城主時代から六角氏の旧臣が多く家臣となっている。これは

長浜城主の豊臣秀吉と同じく城持ち大名として近江出身者を多く雇用した結果である。柴田勝家はこれら家臣の他に北陸軍団長として大名級の尾張からの「与力」がつけられている。前田利家、佐々成政、佐久間盛政などである。拝郷 家嘉（はいごう いえよし）も、尾張出身の織田氏の家臣だが、柴田勝家（斯波氏の庶流という説もある）の与力として北陸戦線で功績を挙げ、加賀大聖寺城の城主に任じられた与力の一人である。主君の織田信長の死後、勝家と羽柴秀吉が天下の覇権を争った賤ヶ岳の戦いに出陣し、勝家方の将として佐久間盛政の攻撃隊に参加したものの、盛政・柴田勝政・山路正国らとともに退却する際に福島正則に近江柳ヶ瀬にて討ち取られた。その子孫は徳川家に仕えたとされているが、ここに登場するのが「拝一刀」である。「拝家は織田信長に仕えた武将、拝郷家嘉をルーツとし、一刀は家嘉の子である孫十郎の子、正直の子である。拝の姓は、拝郷が武士が見せてはいけない「背後」に通じるとして、拝郷の「郷」を取って拝とあらためたという。」というように劇画『子連れ狼』においては、拝家がどのような家柄で、どういう歴史を持つかについては、詳しく描かれている。では、拝一刀の使う剣術は何という流派か。実際に今も静岡県下を中心に命脈を保つ古流剣術である。

水鷗流 京八流 馬庭念流 北辰一刀流 神道無念流

□

108、古美術の世界では、「南部鉄瓶」と同じくらい有名な「古鉄瓶」が近江八幡市にもあったことをご存じだろうか。隣の東近江市（能登川）にも「亀文堂」での鉄瓶があって有名であるが、近江八幡でも古鉄瓶がつくられていた。それを何という「○○鉄瓶」か。もし、今持っている方がいれば「なんでも鑑定団」に出品できるだろう。

正神鉄瓶 梅泉堂鉄瓶 八幡鉄瓶 湖東鉄瓶 龍文堂鉄瓶

□

109、狩野永徳が描いた「安土城屏風」が天正遣欧少年使節の手によりローマの教皇グレゴリウス13世に渡り、以後行方が分からなくなっているが、同じく織田信長が狩野永徳に描かせ上杉謙信に送った「上杉本、洛中洛外図屏風」は国宝に指定され現在まで残っている。さて、上杉謙信は、関東管領を、後北条氏の圧迫から逃れた山内上杉の憲政に譲られて「上杉」を名乗るのだが、関東では、山内上杉家のほか扇谷上杉家、古河公方足利、堀越公方（鎌倉公方）などが争った享徳・永享・長享の乱・永正の乱が有名である。その時、山内上杉の家宰として越後守護代の長尾為景の同族であった長尾景春がいれば、同様に扇谷上杉家には家宰として、川越城や江戸城を作った人物で「七重八重 花は咲けども 山吹の実の一つだに なきぞ悲しき」の歌で有名な人物がいた。現在では豊島区神田川橋の近くに「山吹の碑」がある。足利学校で学んだとされている、扇谷上杉の家宰を務めたその人物は誰か。その人物は、文明12年、関東より上京せし時、老蘇の森にて「きわねただ 老曾の杜の秋風も 心にかよふ 袖の上の雲」と和歌を詠んでいる。

成田氏長 長尾景虎 上杉景勝 太田道灌 北条早雲

□

110、柳生石舟斎は、松永久秀に仕えていたが、織田信長の命により足利義昭の剣術指南役にもなった。その後隠居したが、大和郡山城主の豊臣秀長に柳生の里の「隠し田」がバレテ所領没収になったが、のち豊臣秀次に100石を復活してもらっている。息子の柳生宗矩が徳川家康に仕え500石を賜り、関ヶ原以降、徳川將軍指南役となる。そもそも、「柳生新陰流」は、伊勢の住人、愛洲移香斎の「陰流」を祖（剣術の源流；移香斎—上泉信綱—柳生石舟斎）として、「陰の流れ」を伝えている。愛洲移香斎は、修験道の山伏や伊賀の百地と出会い「陰流」を創設したといわれている。（陰とは忍びの術である。）それでは、戦国時代にもう一人の武芸者（剣豪）である宮本武蔵が若い時に仕えた戦国武将の名前は誰か。晩年ではありません。関ヶ原合戦の時に仕えた主人名です。なお余談ですが宮本武蔵には複数説があり、二天一流を創始し、五輪の書を記した宮本武蔵は播州生まれで「玄信」と名乗っています。円明流を創始した美作生まれの武蔵は「宮本武蔵政名」を名乗っています。鳥取藩に仕えた「宮本武蔵義貞」も文献に出てきますし、絵や書を残した武蔵は「範高」だということです。一体これはどう考えたらよいでしょう。

宇喜多秀家 織田信雄 大谷刑部吉継 石田三成 豊臣秀次

□

111、織田信長は、平清盛の子孫であって「平信長」だと名乗っています。なぜなら平清盛の長男が重盛でその子が平資盛であり、信長の出た織田氏はその資盛の末裔だとされているからです。NHK大河ドラマで承知でしょうが、平清盛は南都六宗を焼き討ちしています。また、織田信長も比叡山延暦寺を焼き討ちしています。それに信長の部下になった松永久秀が多門山城の戦いで、東大寺の大仏の首を落した事件は有名です。それでは問題です。奈良の東大寺は南都六宗の主は何宗の本山とされていたところでしょうか。東大寺は聖武天皇の開基による「びるしゃな仏」が有名です。まお南都六宗は、華嚴宗、法相宗、律宗、俱舍宗、成実宗、三論宗の六つを言います。後代の天台宗・真言宗は平安仏教と云い、浄土宗や禅宗・日蓮宗を鎌倉仏教と言います。

華嚴宗、 法相宗、 律宗、 俱舍宗、 成実宗、 三論宗 □

112、渡辺崋山が幼い時、勉学に勤しんだ「中小森村」に、渡辺崋山の庵跡がある。その渡辺崋山は、高野長英などと共に「蛮社の獄」（南蛮グループに対する言論弾圧）を受けて亡くなるのであるが、その時の老中は水野忠邦、直接、手を下したのは、南町奉行の「鳥居忠耀」である。彼は「蝮の耀蔵」「妖怪」（鳥居甲斐守耀蔵）といわれ国学者の子であり、蘭学・洋学者に関しては冷酷で、「外国船打ち払い令」もこの頃であり、庶民にも忌み嫌われていた。その彼に対抗した当時の北町奉行は庶民に人気であったが、老中水野と鳥居によって閑職に追いやられた。鳥居の失脚後、南町奉行に復帰している人がいるが、その人物とは誰か。

遠山景元 大塩平八郎 大岡忠相 小栗忠順 阿部正蔵 □

113、渡辺崋山が師事した近江聖人「中江藤樹」から学んだものは「陽明学」である。当時は朱子学が体制派に好まれたのに対し、陽明学は反体制派に好まれた。渡辺崋山は藤樹に師事したが同門では大塩平八郎が独学で陽明学を学んでいる。幕末の維新運動は陽明学に影響を受けており、この系統に吉田松陰、高杉晋作、西郷隆盛、佐久間象山、河井継之助などが歴史上いる。ではこの中国明の王陽明が起こした陽明学や朱子学などを総称して「儒教」というが、別名「孔子教」ともいわれる。孔子だけでなく、中国の春秋戦国時代には孟子、老子、墨子、莊子、韓非子などの「諸子百家」が有名である。「諸子」は人物を指す言葉であるが「百家」は学派を示す言葉である。では老莊思想というが、老子と莊子は、なんという学派でそれは「百家」のうちの何を指すのか。

墨家思想 道教 陰陽道 神仙学 孫子兵法 □

114、近江八幡市と夫婦都市提携をしている、静岡県富士宮市はB級グルメ「富士宮焼きそば」と富士山の雪解け水が溶岩断層から湧き出す無数の滝が並んでいる「白糸の滝」で有名であるが、歴史好きには、信長の首塚のある西山本門寺とか、日本三大仇討の一つである「曽我兄弟（仇討）物語」の場である「曽我八幡宮」が観光には好まれている。では、曽我兄弟は誰を仇討ちしたのでしょうか。「曽我八幡宮」には首洗い井戸などが残されている。ちなみにあとの二大仇討とは「赤穂浪士の忠臣蔵」と「荒木又衛門の鍵屋の辻」である。前段は鎌倉時代であり、後段の2つは江戸時代である。外様大名と徳川の旗本又は高家との争いごととして有名になったものである。

源 頼朝 梶原景時 工藤祐経 三浦義澄 北条義政 □

115、近江源氏の「佐々木氏」は近江八幡市安土町を本貫地とした一族である。起源には二説あり、宇多源氏系の佐々木氏と古代豪族（朝鮮式山城の阿倍臣一族とされる。）狭狭貴山君（日本書紀の顕宗天皇の条に、「狭々城山君韓袋宿禰」（ささきやまぎみからふくるのすくね）が豪族狭狭城山公の祖とされてきた）の二説である。佐々木氏は、近江国を発祥の地とする宇多源氏の一流である。宇多天皇の玄孫である源成頼が近江国佐々木庄に下向し、その地に土着した孫の経方が佐々木を名乗った事から始まるとされる宇多源氏の中でも佐々木氏は特に近江源氏あるいは佐々木源氏と呼ばれて繁栄し、各地に支族を広げた。佐々木氏の祖となる佐々木秀義は保元元年（1156年）に崇徳上皇と後白河天皇が争った保元の乱において、天皇方の源義朝軍に属して戦い、平治元年（1159年）の平治の乱で

も義朝軍に属して戦うが、義朝方の敗北により伯母の夫である藤原秀衡を頼って奥州へと落ち延びる。秀義の4人の子定綱、経高、盛綱、高綱は、乱後に伊豆国へ流罪となった義朝の嫡子源頼朝の家人として仕えた。治承4年（1180年）に頼朝が伊豆で平家打倒の兵を挙げると、佐々木4兄弟はそれに参じて活躍し（宇治川の先陣争いは有名である）鎌倉幕府創設の功臣として頼朝に重用され、本領であった近江を始め17ヶ国の守護へと補せられる。また、奥州合戦に従軍した一門の者は奥州に土着し広がっていったとされる。近江本領の佐々木嫡流は、信綱の死後、近江は4人の息子に分けて継がれ、3男の佐々木泰綱が宗家となる佐々木六角氏の祖となり、4男の佐々木氏信が佐々木京極氏の祖となる。鎌倉政権において、嫡流の六角氏は近江守護を世襲して六波羅を中心に活動し六波羅評定衆などを務める一方、庶流の京極氏は鎌倉を拠点として評定衆や東使など幕府要職を務め、北条得宗被官に近い活動をしており、嫡流に勝る有力な家となる。京極氏の系統である佐々木道誉は、足利高氏の幕府離反に同調して北条氏打倒に加わり、足利政権における有力者となる。また、治承4年の頼朝挙兵時に平氏方につき、後に頼朝に従った佐々木義清（佐々木秀義の5男）は、初め「源氏仇方」であったため平氏追討以後も任国を拝領しなかったが、永年の功と承久の乱の時に幕府方についたため、初めて出雲、隠岐の両国守護職を賜い、彼国に下向し近江源氏から分派して出雲に土着したため、この一族を出雲源氏（隠岐氏、穴道氏、富田氏、末次氏などが末系統）という。では、問題であるが、この「出雲源氏」の末裔で有名な人で日露戦争に活躍した大將は次のうち誰れですか。なお、京極家の分家で尼子氏（甲良荘尼子郷）がいるが、この京極尼子氏は「出雲源氏」には含めない。ただ京極尼子が出雲の守護代であったことから、戦国時代には出雲地方の戦国大名になった一族で、織田信長・豊臣秀吉とは大いなる因縁をもつ一族ではあるが……。また、山名氏も出雲を領したが、清和源氏ではあるが、「河内源氏」の系統である。

乃木希典 東郷平八郎 谷 干城 児玉源太郎 山形有朋 □

116、三谷幸喜監督の「清須会議」に登場する「三法師」は成人して織田秀信と名乗るが、関ヶ原合戦で西軍に付き敗れて高野山に流されそこで没する。彼の墓所は高野山の光台院境内にあるが、奇しくも、隣接地には豊臣秀次公の胴塚がある。では問題です。三法師こと織田秀信は誰の子ども（遺児）でしょうか。映画では母は松姫（信松尼）となっていました、その夫の名前です。

織田信長 織田信忠 織田信包 織田信孝 織田信雄 □

117、豊臣秀次の家臣には織田秀信の娘を妻にした六角義郷という武將がおり、彼の異母弟の「八幡山秀綱」（母は織田信広の娘）は織田秀信の養子になり文禄の役で病没している。さて、前問の映画の続きで、剛力彩芽が扮する松姫は誰の娘として登場していたのか。

徳川家康

上杉謙信

武田信玄

今川義元

北条氏康

